

# 目 次

各章の要旨	1
序 章 コロナ危機とアラブ・イスラエル接近が示唆する中東の変容	立山 良司 7
第 1 章 ポスト・トランプのアメリカと中東	小野沢 透 15
第 2 章 米大統領選挙後のイラン情勢 ——2021 年にイランが迎える内政と外交の重要課題	貫井 万里 33
第 3 章 カーズイミ政権下のイラクにおける人民動員部隊問題	吉岡 明子 51
第 4 章 アラブ・イスラエル関係の変容とパレスチナ問題	立山 良司 65
第 5 章 湾岸アラブ諸国の食料安全保障政策	齋藤 純 75
第 6 章 中東・北アフリカの食料安全保障 ——気候変動、輸入依存、地域協力をめぐる課題整理	井堂 有子 83
第 7 章 「アフリカの角」の政治変動： 重層化するダイナミズムをとらえる視座に向けて	遠藤 貢 93
第 8 章 リビア紛争の展開と地中海東部、紅海沿岸情勢との連動	小林 周 103
第 9 章 転換期を迎えたトルコの対アフリカ外交 ——ソマリア、スーダン、リビアの事例から	柿崎 正樹 113
第 10 章 サウジアラビア経済を取り巻く環境 ——石油政策、経済改革を中心に	中西 俊裕 123
第 11 章 中東・北アフリカ諸国の体制変動と湾岸アラブ諸国の援助	松尾 昌樹 135

